



平成 22 年 4 月 8 日

各 位

会社名 株式会社ビックカメラ  
 代表者名 代表取締役社長 宮嶋 宏幸  
 (コード番号：3048 東証一部)  
 問合せ先 常務取締役経営企画本部長 金澤 正晃  
 T E L 03-3987-8785

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 22 年 1 月 12 日に公表した平成 22 年 8 月期（平成 21 年 9 月 1 日～平成 22 年 8 月 31 日）の連結業績予想、平成 21 年 10 月 14 日に公表した平成 22 年 8 月期の個別業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 連結業績予想数値の修正

(1) 平成 22 年 8 月期 第 2 四半期連結累計期間（平成 21 年 9 月 1 日～平成 22 年 2 月 28 日）

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A)	297,000	5,250	1,600	△1,400	△831.33
今回修正予想 (B)	298,000	6,510	2,080	1,680	997.73
増減額 (B-A)	1,000	1,260	480	3,080	
増減率	0.3%	24.0%	30.0%	—	
(ご参考) 前第 2 四半期実績 (平成 21 年 8 月期第 2 四半期)	294,644	3,829	4,348	1,470	877.57

(2) 平成 22 年 8 月期 通期（平成 21 年 9 月 1 日～平成 22 年 8 月 31 日）

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A)	595,000	10,500	7,500	1,600	938.99
今回修正予想 (B)	600,000	12,600	8,700	5,200	3,057.33
増減額 (B-A)	5,000	2,100	1,200	3,600	
増減率	0.8%	20.0%	16.0%	225.0%	
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 8 月期)	589,177	8,854	9,367	5,094	3,040.03

## 2. 個別業績予想数値の修正

(1) 平成22年8月期 第2四半期累計期間 (平成21年9月1日～平成22年2月28日)

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A)	237,000	4,700	5,050	2,850	1,692.34
今回修正予想 (B)	240,000	5,740	6,210	630	374.15
増減額 (B - A)	3,000	1,040	1,160	△2,220	
増減率	1.3%	22.1%	23.0%	△77.9%	
(ご参考) 前第2四半期実績 (平成21年8月期第2四半期)	231,089	3,537	4,215	△3,165	△1,888.94

(2) 平成22年8月期 通期 (平成21年9月1日～平成22年8月31日)

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A)	477,000	9,300	10,400	5,600	3,286.47
今回修正予想 (B)	487,000	11,000	12,000	3,400	1,999.02
増減額 (B - A)	10,000	1,700	1,600	△2,200	
増減率	2.1%	18.3%	15.4%	△39.3%	
(ご参考) 前期実績 (平成21年8月期)	465,575	8,296	9,390	6,195	3,696.53

## 3. 業績予想修正の理由

### (1) 連結

個別の業績が好調であったことに加え、個別において計上した関係会社株式評価損は連結では計上されませんがその評価損に係る税務計算 (損金経理) を行った結果、第2四半期累計期間および通期の売上高、営業利益、経常利益および当期 (四半期) 純利益の業績予想を上記のとおり上方修正いたします。

### (2) 個別

既存店および株式会社さくらやからの承継店を含む新店の業績が順調であることから、第2四半期累計期間および通期の売上高、営業利益および経常利益の業績予想を上記のとおり上方修正いたします。一方、第2四半期純利益および通期の当期純利益については下記の要因により業績予想を下方修正いたします。

当社は時価のある有価証券の評価について、時価が取得原価に比べ50%以上下落した場合には一律に評価減をしておりますが、今般、当社保有の関係会社株式であるベスト電器株式の株価が、第2四半期末で1株212円まで下落したことから、第2四半期累計期間で評価損5,932百万円を計上および税務計算 (損金経理) を行いました。また、通期予想においても第2四半期末の株価212円を前提に、関係会社株式評価損の計上および税務計算 (損金経理) を行いました。

(注) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は上記予想数値と異なる場合があります。

以 上